

D4 : Japanese Utility Model Kokai No. Hei-06-49321

Published: 5 July 1994

Application No. 91294/1992 (Hei-04-91295)

Filed: 14 December 1992

Applicant: KANEBO Kabushiki Kaisha

Inventors: SHIMIZU, Jun et al.

Title of the Invention:

Packaging box

Abstract:

[Problem to be solved]

There is provided a packaging box in which the color tone or the like of the content contained in the box without opening the box, and the content is not faded by means of an external light beam.

[Construction]

A packaging box (1) has at least one surface provided with a U-shaped or V-shaped a perforated line or line along which to cut off (4) and a folding line (5) extending between both ends of the perforated line (4). The perforated line (4) is cut off and the folding line (5) is folded this side so that a widow portion (3) covered with a transparent film (6) is put in an appearance.

(19)日本国特許庁 (JP)

(12) **公開実用新案公報 (U)**

(11)実用新案出願公開番号

実開平6-49321

(43)公開日 平成6年(1994)7月5日

(51)Int.Cl.⁵

B 65 D 5/52

識別記号 庁内整理番号

101 D 7445-3E

F I

技術表示箇所

H 7445-3E

審査請求 未請求 請求項の数1(全2頁)

(21)出願番号

実開平4-91295

(22)出願日

平成4年(1992)12月14日

(71)出願人 000000952

鐘防株式会社

東京都墨田区墨田五丁目17番4号

(72)考案者 清水 順

神奈川県小田原市寿町5丁目3番28号 鐘
防株式会社化粧品研究所内

(72)考案者 福岡 昇

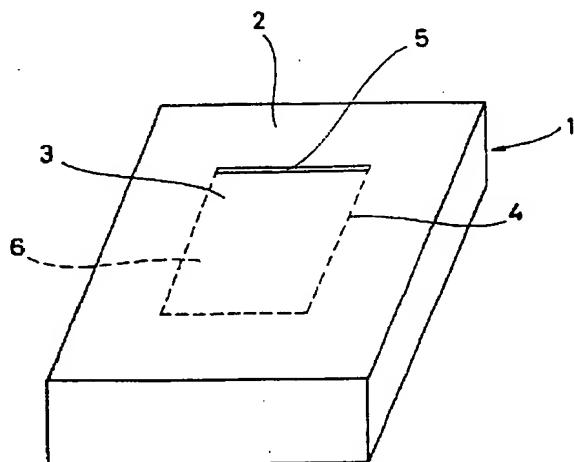
神奈川県小田原市寿町5丁目3番28号 鐘
防株式会社化粧品研究所内

(54)【考案の名称】 包装用箱

(57)【要約】

【目的】 包装用箱を開けることなく収容されている内容物の色調等を自由に確認することができ、且つ外部の光によって内容物が褪色することのない包装用箱を提供する。

【構成】 包装用箱(1)の少なくとも一面に、コの字形状、U字形状またはV字形状をなす切り取り線(4)と、この切り取り線(4)の両端縁を結ぶ折野線(5)とが設けられ、切り取り線(4)を切取って折野線(5)を手前側に折り返すことにより、透明フィルム(6)により閉鎖された窓部(3)が現出する。



1

【実用新案登録請求の範囲】

【請求項1】 包装用箱(1)の少なくとも一面に、コの字形状、U字形状またはV字形状をなす切り線(4)と、この切り線(4)の両端縁を結ぶ折戻線(5)とが設けられており、上記切り線(4)を切取って折戻線(5)を手前側に折り返すことにより窓部(3)が形成され、且つこの窓部(3)が透明フィルム(6)により閉鎖されていることを特徴とする包装用箱。

【図面の簡単な説明】

【図1】 本考案の包装用箱の一実施例を示す外観斜視図である。

【図2】 上記実施例の包装用箱を展開した状態の裏面図*

2

*である。

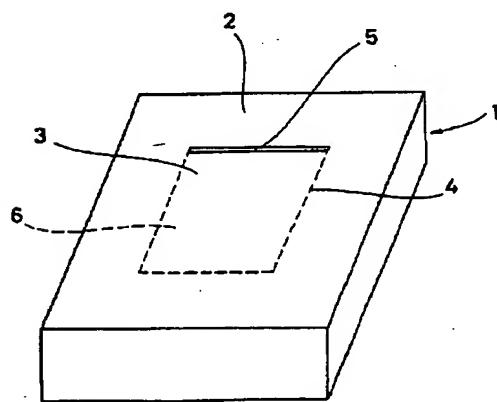
【図3】 本考案の包装用箱の他の実施例を示す外観斜視図である。

【図4】 上記他の実施例の包装用箱の使用態様を示す斜視図である。

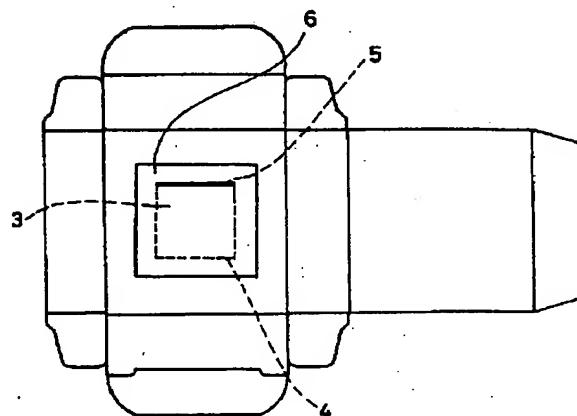
【符号の説明】

- 1 包装用箱
- 2 正面
- 3 窓部
- 4 切取り線
- 5 折戻線
- 6 透明シート

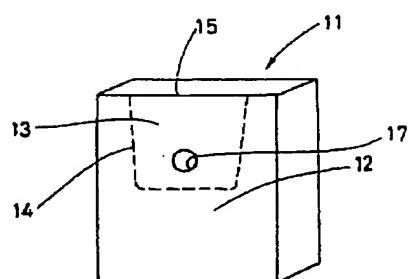
【図1】



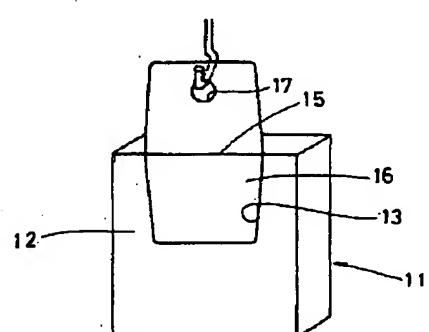
【図2】



【図3】



【図4】



【考案の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】

本考案は、化粧品等の商品を収容包装するための包装用箱に関するものである。

。

【0002】

【従来の技術】

一般に、化粧品等の商品は、口紅、アイシャドウ、頬紅、ファンデーション等の内容物を充填した金皿等を容器に装着したものを、紙等で形成された包装用箱に1ヶずつ個装した状態で販売されている。そして、特に、内容物の色、模様等を呈示することが消費者の購買意欲を喚起したり、或いは商品識別を容易にしたり、というような効果を奏する商品については、包装状態で内容物が見えるような透明な容器を用い、更に包装用箱に窓部を穿設し、この窓部を通して上記商品を見せて販売することが行われている。

【0003】

ところが、上記のような包装形態においては、商品の陳列中に日光や強い照明光が包装用箱の窓部から透明な容器を透すこととなり、化粧品等の内容物で耐光性の弱いものは褪色を起こして商品価値をなくしてしまうという問題が発生した。

。

【0004】

このため、耐光性の弱い内容物を包装するにあたっては、不透明な容器と、窓部が無く遮光性のある包装用箱とが用いられている。従って、消費者が内容物の色調等を確認するためには、いちいち包装用箱や容器を開けて内容物を確認する必要があり、消費者にとって甚だ面倒であるのみならず、消費者が自由に箱や容器を開けることに起因する問題も発生しかねなかった。そこで、このような問題を解決するために、内容物の色と同じ色を包装用箱に印刷して表示したり、包装用箱に色見本シートを貼着したりしたものも提案されているが、現在の印刷技術では、現物の内容物と完全に同じ色調を印刷で再現することは不可能であり、内容物の色調を正確に把握したいという消費者の要望を満たすものは得られていない

いというのが実情であった。

【0005】

【考案が解決しようとする課題】

本考案は、このような事情に鑑みなされたもので、消費者が包装用箱を開けることなく収容されている内容物の色調を自由に確認することができ、且つ外部の光によって内容物が褪色することのない包装用箱の提供を目的とするものである。

。

【0006】

【課題を解決するための手段】

上記の目的を達成するために、本考案の包装用箱は次のような構成をとる。即ち、包装用箱の少なくとも一面に、コの字形状、U字形状またはV字形状をなす切取り線と、この切取り線の両端縁を結ぶ折野線とが設けられてなり、上記切取り線を切取って折野線を手前側に折り返すことにより窓部が形成され、且つこの窓部が透明フィルムにより閉鎖されていることを特徴とするものである。

【0007】

以下、本考案の実施例を図面に基づき説明する。

【0008】

【実施例】

図1は、本考案の包装用箱の一実施例を示す外観斜視図である。この包装用箱(1)は、正面(2)の略中央に矩形状の窓部(3)を有している。この窓部(3)は、切り刃またはミシン目にてコの字形状に形成された切取り線(4)と、切取り線(4)の両端縁を結んでコの字形状を矩形状にするようにトムソン刃またはミシン目にて設けられた折野線(5)とから構成されている。そして、この包装用箱(1)の正面(2)の裏側には、図2の展開裏面図に示すように、透明フィルム(6)が上記窓部(3)を閉鎖するように窓部(3)の外周に糊材にて貼着されている。

【0009】

このように構成された包装用箱(1)を使用するにあたり、通常は窓部(3)を閉めた状態としておき、内装品である内容物の色調を確認する場合には上記コ

の字形状の切り取り線（4）を切り取り、上記折野線（5）を手前側に谷折りして切取られた部分を上方に折り返す。すると、透明フィルム（6）で閉鎖された窓部（3）が現れ、この窓部（3）から透明フィルム（6）を通して包装用箱（1）の内部を覗き内容物の色調等を確認することができる。そして、内容物の色調等の確認が終った後には、上記折野線（5）の折り返し状態を解除することにより簡単に元の状態に戻すことができる。

【0010】

図3及び図4は、本考案の包装用箱の他の実施例を示している。この包装用箱（11）においては、コの字形状の切り取り線（14）を箱正面（12）の上端縁の折野線（15）の位置まで延設して矩形状の窓部（13）が形成されている。そして、この窓部（13）は、上記実施例と同様に箱正面の裏面に貼着された透明フィルム（16）により閉鎖されている。また、上記切り取り線（14）と折野線（15）とで囲まれた矩形状部には、商品陳列棒やフックに吊り下げる際に用いることのできる吊下孔（17）が穿設されている。

【0011】

このように構成された包装用箱（11）においては、上記切り取り線（14）を切取って折野線（15）を谷折りすることにより、透明フィルム（16）で被われた窓部（13）が現れ、この透明フィルム（16）を通して包装用箱（11）の内部を覗くことにより内容物の色調等を確認することができる。また、上方に折り返された矩形状部に穿設された吊下孔（17）を用いて吊下棒やフックに吊り下げることにより、窓部（13）から内容物を見せた状態で吊り下げ陳列することができる。

【0012】

尚、本考案の包装用箱において、窓部の大きさと位置とは、上記の実施例に限定されず、包装用箱に収納された内容物の位置関係によって適宜決定することができる。そして、窓部の形状も、上記実施例に挙げた矩形状に限定されず、切り線を例えばU字形状やV字形状とすることにより、これらの形状の窓部とすることもできる。

【0013】

また、窓部を閉鎖する透明フィルムは、窓部の設けられた面の裏面全面を被覆する大きさとしてもよく、その材質としては、ポリエステル、ポリ塩化ビニール、ポリオレフィン等の合成樹脂フィルム、セロハンのような半合成フィルム等が挙げられるが、適度な強度を有し、透明であって包装用箱の裏面に貼着可能なものであれば、特に材質は限定されない。更に、包装用箱の材質も、包装用箱を形成できるものであれば、通常の紙以外を使用することもできる。

【0014】

【考案の効果】

以上のように、本考案の包装用箱においては、包装用箱の正面に設けられた切り取り線を切り取り折畳線を折り曲げて窓部を現出させることにより、透明フィルムを通して容易に包装用箱の内部を覗き内装物である内容物の色調等を確認することができる。また、窓部は透明フィルムで閉鎖されているので、塵埃等の浸入の問題が発生することがない。そして、内容物の色調等の確認が終わった後には、折畳線の折り曲げを元に戻して窓部を閉鎖し遮光することによって、化粧品等の内容物が外部の光で褪色するのを防止することができる。このように、本考案の包装用箱は、内容物の色調等の確認を極めて容易に行えるようにし、且つ外部の光によって化粧品等の内容物が褪色する問題も解消する極めて実用的なものである。